

● **所在地**

富山県リハビリテーション病院・こども支援センター隣接地
(富山市下飯野)

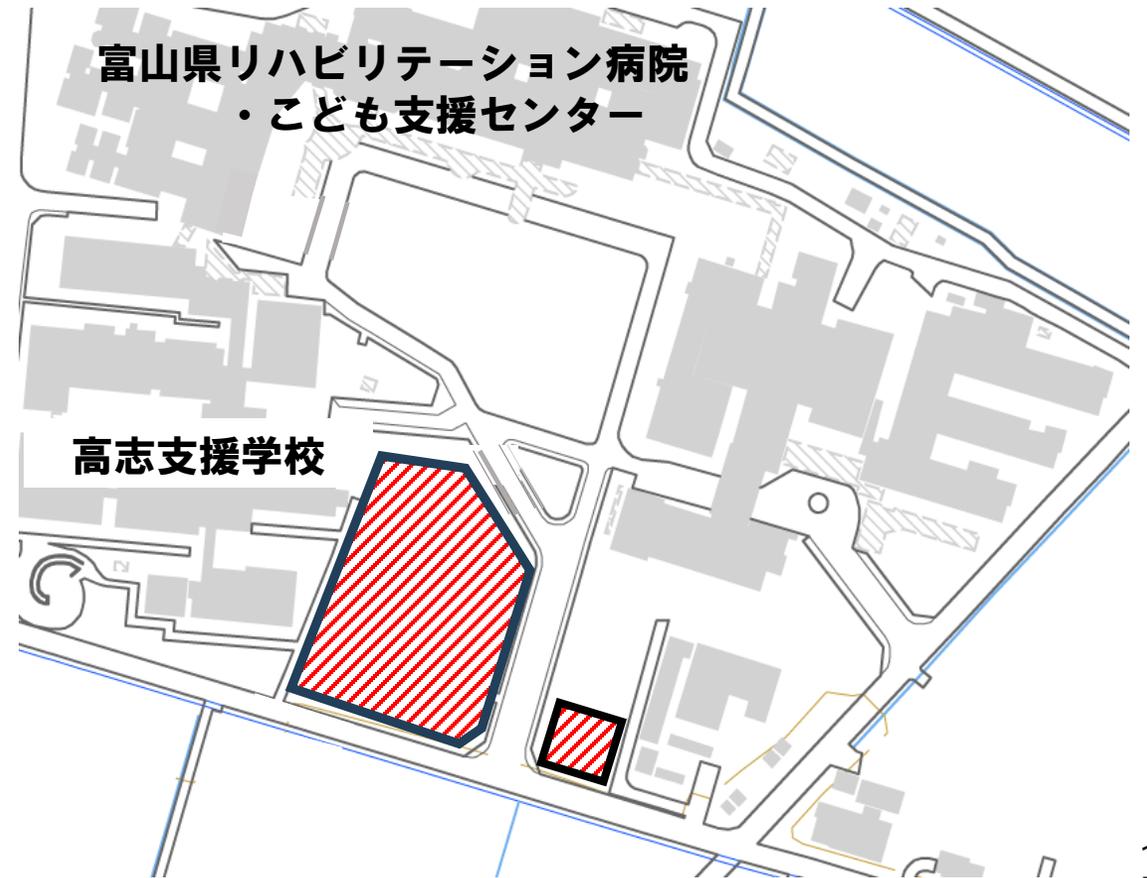
● **3つの施設を整備**

- ◆ 富山児童相談所
- ◆ 児童心理治療施設
- ◆ 学びの場

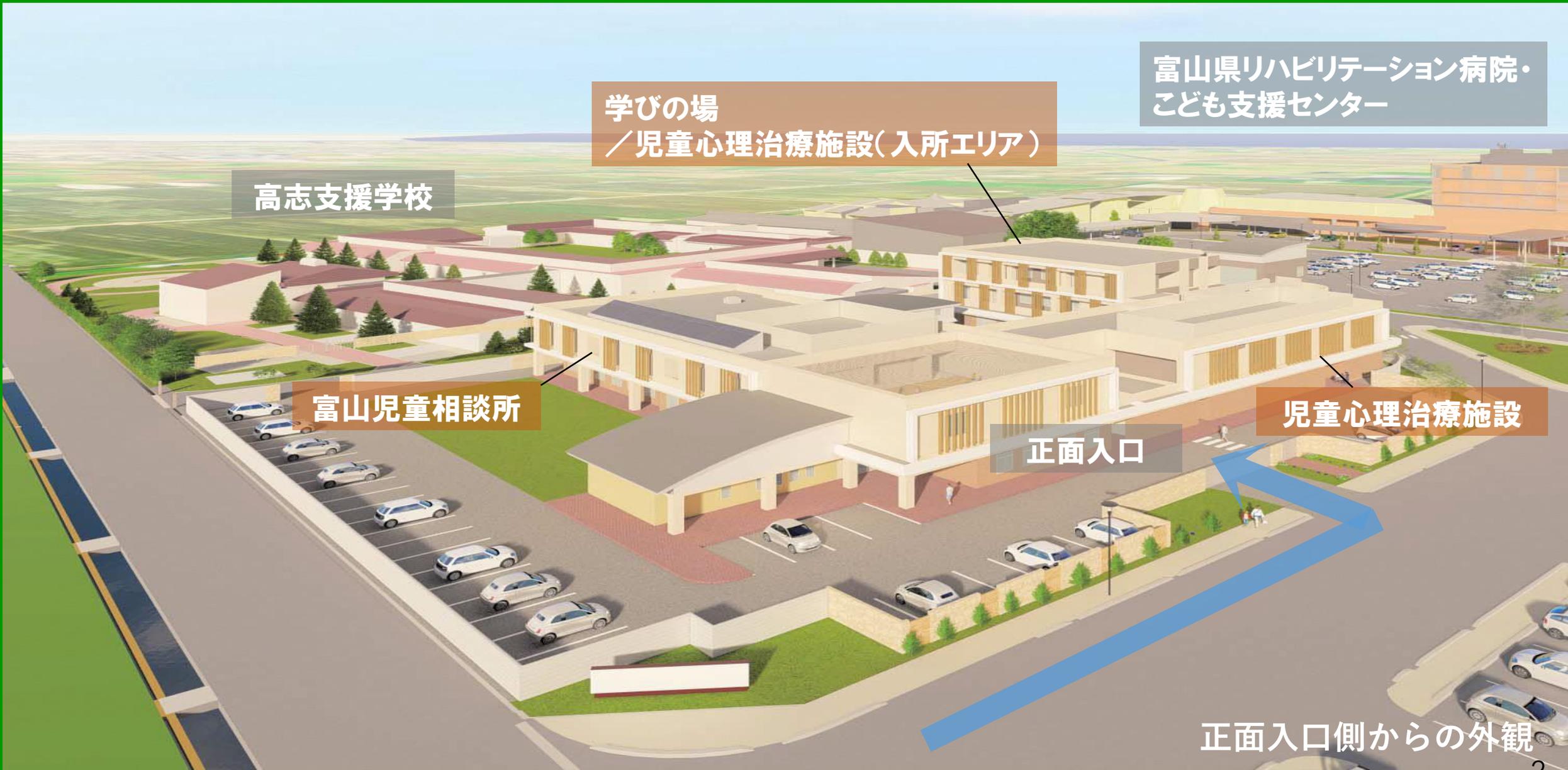
● **整備面積** 4,264 m²

● **完成予定** 令和8年度末頃

● **概算工事費** 約37億円



施設の全体像（外観パース図）



施設の整備方針

「こどもまんなか社会」の実現を目指す新たな拠点施設

- 同一建物内に、「相談・援助」、「心のケア・生活支援」、「学習環境」の3つの機能を集約し、あらゆる角度から、こどもの権利を擁護し、健やかな成長を支援
(県立施設では、日本海側初)
- 様々な専門スタッフがこどもの最善の利益を考慮し、誰一人取り残さない援助活動を展開
- 立地の特性を活かし、富山県リハビリテーション病院・こども支援センターと密接に連携し、一人ひとりのこどもの状態に即した相談・支援を実施

施設の概要①

1 富山児童相談所の機能強化

●二拠点体制による機能強化

困難な状態にあるこどもに対して**心理・医療両面から専門的ケア**

富山児童相談所の移転改築

相談者の利便性を高め、**4つの相談機関との連携による幅広いきめ細かな相談支援**

富山駅前のCiC 5階に配置
(R7.4月開設予定)

●調査から援助までの機能強化

専門的な角度から**総合的に調査・診断・援助を行うために必要な機能を充実強化**

●一時保護施設の機能強化

こどもたちが安らぎ、**家庭的な雰囲気のもと、安心安全で快適な生活・学習環境を提供**

施設の概要②

2 児童心理治療施設の整備（本県初）

- 社会生活への適応が困難となったこどもに対して、専門スタッフの協働による心のケアや生活指導、社会生活に
適応するための支援を行う施設

3 学びの場の整備

- 児童心理治療施設に入所又は通所するこどもに対して、
高い専門性を持つ教員が、個々の障害特性を理解したうえで、
個別の教育的ニーズに応じたきめ細かな配慮のある指導や
支援を行う施設

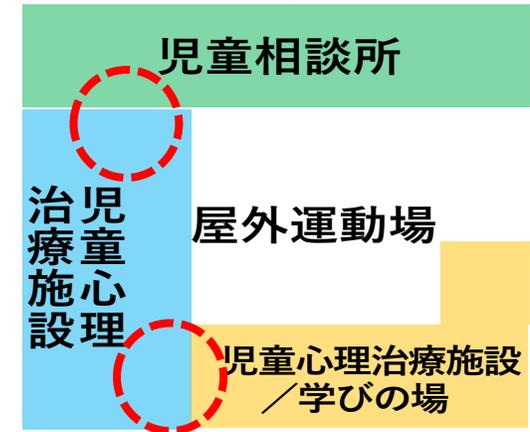
4 3つの施設の連携

- 3つの施設を同一建物内に整備することにより、各施設
の専門スタッフが緊密に連携して、一人ひとりのこどもの
状況を把握し、きめ細かな円滑な支援を展開

施設の特徴①

1 3つの施設が連携しやすい建物配置

- 3つの施設を明確にゾーニング分けするとともに、各施設が相互利用する設備や管理部門は、**建物のコーナー付近に配置し、利便性や効率性を向上**



2 こどもが安心して生活・学習できるプライベートゾーン

- 富山児童相談所の一時保護施設や児童心理治療施設の入所エリア、学びの場の教室は、**建物の西側半分に配置し、こどものプライバシーを確保**

施設の特徴② (外観パース図)

児童心理治療施設

富山児童相談所

学びの場
／児童心理治療施設(入所エリア)

入所するこどもが安心して生活できる
建物西側のプライベートゾーン

富山県リハビリテーション病院・こども支援センター側からの外観

施設の特徴③

3 安らぎ・家庭的な環境づくり、快適に生活できる空間づくり

- 内装は県産木材を活用し、**温かい雰囲気づくり**
- 入所エリアの生活の場は、男女別とし、**居室は個室化**

4 いきいきと活動できる学びの場づくり

- 小学部と中学部のエリアを分け、**こどもの成長に応じた学習空間**づくり
- こどもがいきいきと活動し、こども同士の一体感や安心感が生まれるよう**屋外運動場を囲んで教室を配置**

施設の特徴④（施設内パース図）



児童相談所の一時保護施設のリビング



児童心理治療施設の入所エリアのリビング



学びの場の普通教室



屋外運動場

担当：こども家庭室こども未来課、教育みらい室特別支援教育課